

冬のはじまり、ぬくもりのある蜜ろうキャンドルを手作りしてみましょ。❄️

蜜ろうキャンドルづくり

【蜜ろうキャンドルとは】

その名の通り、ハチたちが作り出した蜜ろうを素材としたキャンドルのことです。ミツバチは、蜜をたくわえられる巣を作るために、その10倍の蜜を食べてお腹で「ろう」を作ります。

一匹のミツバチが、生涯で集められるハチミツの量は小さなスプーン1杯分。一本の蜜ろうキャンドルに、数えきれないミツバチたちの労力がかかっていることが分かります。

日時: 12月16日(日)
14:00~17:00

場所: 講座室 定員: 先着40名

参加費: 1,000円/一人

- ミツバチの巣を使った実験やハチと森のおはなし
- キャンドル作り

一人2個制作: 1つは持ち帰り用、1つはイルミネーション点灯用

対象: どなたでも(小学2年生以下は保護者同伴)

申込み: 電話(0237-53-0230) 又は総合受付カウンターへ直接

作り終わったら、外に並べて火をともし、やさしい蜜ろうのあかりを楽しみましょう。



講師紹介: 安藤竜二(あんどうりゅうじ) ハチ蜜の森キャンドル代表

1964年生まれ。山形県朝日町在住。養蜂を学んだ後、蜜ろうの優しい灯火に惹かれ、1988年日本ではじめての蜜ろうソック製造に着手。灯りで被災地を支援するキャンドルリンクネットワーク主宰。(社)国土緑化推進機構認定「森の名手・名人」。編著『朝日岳山麓養蜂の営み〜みつばち〜』。現在「鳥海イヌワシ未来館通信」と「季刊地域」でコラム連載中。また、無農薬栽培農園にアシナガバチを移住させ害虫駆除する方法を広める「アシナガバチ移住プロジェクト」活動にも奮闘中。

- まなびあテラスのワークショップ料金は、東根市の文化推進のため、参加費をまなびあテラスで一部助成しております。そのため、通常の講師ワークショップ料金とは異なります。
- ワークショップ中の活動の様子を写真・動画で撮影し、広報等に利用する場合があります。



まなびあ
テラス

お問い合わせ: 東根市公益文化施設まなびあテラス
〒999-3730 山形県東根市中央南一丁目7-3

市民活動支援センター
Tel. 0237-53-0230